

平成11年9月1日

第 1号

柳川郷土研究会

会誌「水郷」付録

すいきょう

# 瓦版

発行所 柳川郷土研究会

柳川市本城町 113-1

発行人 武松 豊

編集人 久木山 輝明



## 温故知新

「故きを温ねて新しきを知れば、以って師たるべし」。現代を生き、未来を展望する上で歴史を学び知ることが大切である。

まして、身近な郷土の先人達の英知は「人と大地の苦闘の記録」であり、其の知恵に学ぶことは現実を生きる者にとって深く関わり今様の生活に重大なヒントを得ることが少なくない。

人の営みの歴史に上下はなく中央も地方も大きな輪の線状で結ばれた終わりのない並列にある。

地方から中をみつめ本流から支流を見る事は即ち自分を見つめる事にもなる。

郷土研究会の活動の目的の一つに今までは気づかれず埋もれるかも知れなかった歴史の掘り起こしとその伝承、これら先人の偉業を今に生かし将来につなぐ夢がある。

研修、活動の中ですぐれた人からは積極的に学び、また、反省もし自己啓蒙の基としたい。